

JR東海労なごや

2011年9月15日 No 864
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇

会社は、駅ホームに 常時駅員を配置しろ！

最近、旅客が列車のドアに挟まれる事象が多く発生しています。しかし、その責任は、全て車掌に責任転嫁されています。

会社は、「駆け込み乗車やめて下さい」「黄色線の内側を歩き下さい」と繰り返し乗務員に放送させることを通じて旅客に注意喚起をさせていますが、旅客は駆け込み乗車をやめようとはしません。車掌は、ドアを閉めるたびに疲労困憊です。

特に、東海道線・中央線金山駅では、ホームが狭く、通勤帯においては、相当混雑します。一方、JRと平行している名鉄金山駅では、常時、駅員が配置されています。

私たち東海労は、事ある毎にホームの駅員を配置すべきだと要求していますが、会社は聞き耳をもちません。

事が起きては遅いのです。

私たち東海労は要求します！！

**会社は、駅ホームに
常時駅員を配置すること！**